

地域とのコミュニケーションで “ふるさと島根”の想いに答える

道の駅を拠点とした地域活性化の取組促進



- ・ 道の駅の防災拠点化
- ・ 国道54号沿線「道の駅」の連携施策（サイクリングロード整備）
- ・ 道の駅相互の連携強化による沿線地域の活性化

山陰道・国道54号沿線の地域活性化（デザインマンホール）



- ・ 山陰道・国道54号沿線の道の駅、観光スポットにある電気のマンホールをデザイン化

地域や民間と連携した維持管理・取組の推進



- ・ V S P 団体との取組の推進（16団体：R8年3月末時点）
- ・ 道路空間を活用した収益活動と公的活動を併せて行う「道路協力団体制度等」の促進
- ・ 建設業界のP R（地域イベント、体験学習等）

島根県内の道の駅：29カ所（R8.4現在）

浜田市	
②②	ゆうひパーク浜田
②③	ゆうひパーク三隅
益田市	
②④	サンエイト美都
②⑤	匹見峡
津和野町	
②⑥	シルクウェイにちはら
②⑦	津和野温泉なごみの里
吉賀町	
②⑧	かきのきむら
②⑨	むいかいち温泉

大田市	
①⑥	ロード銀山
①⑦	ごいせ仁摩
美郷町	
①⑧	グリーンロード大和
江津市	
①⑨	サンピコごうつ
川本町	
②⑩	インフォメーションセンター かわもと
邑南町	
②⑪	邑南の里

出雲市	
⑦	湯の川
⑧	大社ご縁広場
⑨	キララ多伎
雲南市	
⑩	さくらの里きすき
⑪	おろちの里
⑫	掛合の里 <small>(R7.5.14「防災道の駅」選定)</small>
⑬	たたらば壱番地
飯南町	
⑭	頓原
⑮	赤来高原

松江市	
①	本庄
②	秋鹿なぎさ公園
安来市	
③	あらエッサ
④	広瀬・富田城
奥出雲町	
⑤	酒蔵奥出雲交流館
⑥	奥出雲おろちループ



「防災道の駅」について

都道府県の地域防災計画等で、**広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅**について、「**防災道の駅**」として選定し、防災拠点としての役割を果たすための**重点的な支援を実施**

主な役割

大規模災害時等の 広域的な防災拠点



- ・自衛隊、警察、テックフォース等の救援活動の拠点
- ・緊急物資等の基地機能
- ・復旧、復興活動の拠点等

地域の一時避難所



重点的な 支援 (最大5年)



広域的な防災拠点機能 を持つ道の駅

「防災道の駅」のターゲット

ハード面

- ・防災機能の整備・強化を交付金で重点支援

ソフト面

- ・BCPの策定や防災訓練について国のノウハウを活用した支援

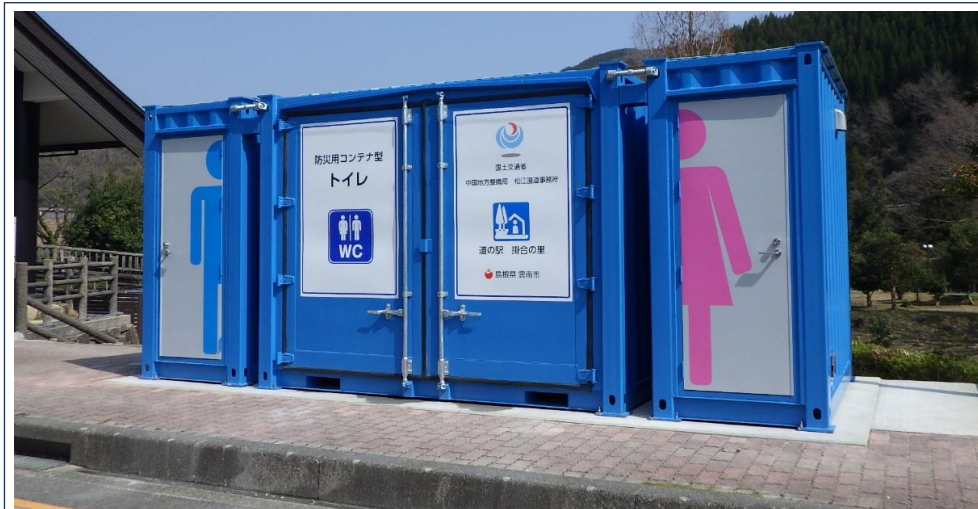
地域の防災拠点機能 を持つ道の駅

その他の道の駅

全体1,231駅
(令和7.12.19時点)

道の駅「掛合の里」 コンテナトイレの概要

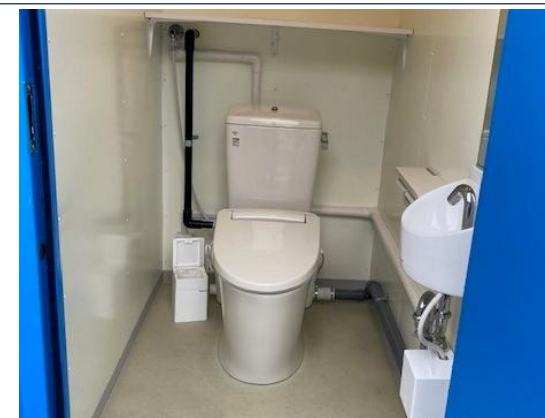
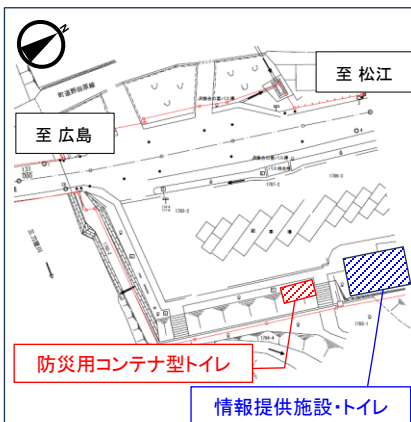
- 能登半島地震では、停電・断水時でも使用可能な防災コンテナ型トイレを、福岡県の防災道の駅「うきは」より被災地へ派遣し、1日あたり300回程度利用されるなど、被災地のニーズに対応した。
- 道の駅「掛合の里」では、令和8年3月25日に防災用コンテナ型トイレを設置し、令和8年4月1日より運用を開始。平常時は「道の駅」のサービス機能向上に活用、災害時は被災地へ派遣して被災地ニーズに対応する。



設置した防災用コンテナ型トイレ(掛合の里)

《防災用コンテナ型トイレの特徴》

- 災害時に移動して使えるコンテナ型の水洗トイレ
- 太陽光発電装置を搭載し、商用電源への接続が不要
- 浄化システムを搭載し、上水道・下水道への接続、汲み取りが不要(一定期間)
- 停電、断水中でも使用可能**

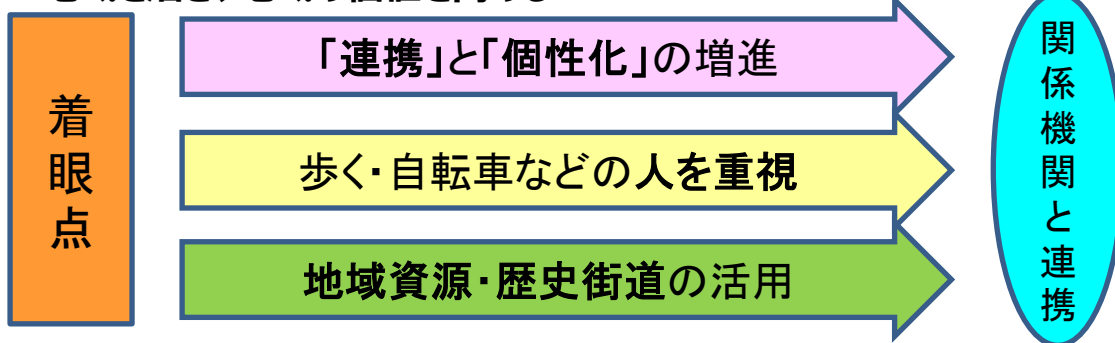


「道の駅」の戦略的な連携・活用による中山間地域の活性化

○尾道松江線の開通による国道54号の交通量減少に伴い、道の駅の売上が低下。沿線地域の衰退が懸念される。
○4つの道の駅の連携により、沿線地域一帯で共同イベントを実施し、交流を促進。観光者のみならず、「地域の人が集まる道の駅」への再生を目指す。



■ 地域を磨き、地域の価値を高める ■



災害対応のローリングストック協定：赤来高原

長期保存食を被災者に提供

道路情報を提供

[参考]国道54号を活用したサイクリングイベント

- 地域活性化を目的としたサイクリングイベントが実施されている。
- サイクリングイベントは毎年開催しており申込者は増加傾向にある。



第1回道の駅でん(R4.3.13)



やまなみ街道チャレンジライド2025(R7.3.22)



第2回道の駅でん(R5.3.11)

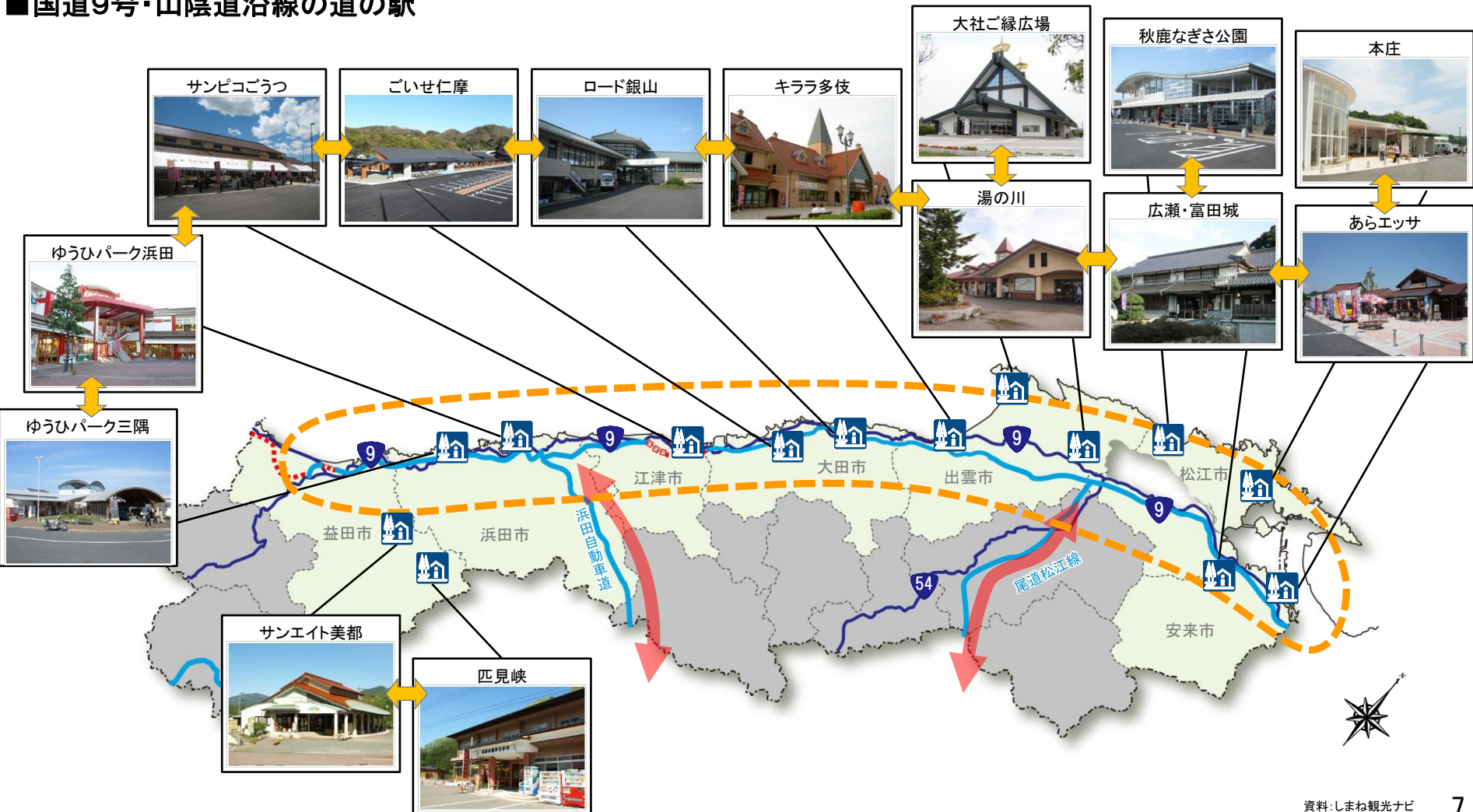


やまなみ街道チャレンジライド2026(R8.3.21)

道の駅相互の連携強化による沿線地域の活性化

○国道9号や山陰道の沿線地域では、道路沿線に位置する道の駅が休憩・観光・情報発信拠点等として機能している。
○山陰道が全線開通する前には、道の駅の機能強化や相互連携だけでなく、道の駅と国、地方公共団体（島根県、沿線市町）、商工会議所、観光協会等の関係者が地域間で連携するなどして相乗効果を高めることが重要。それにより、山陰道や国道9号の沿線地域の活性化が期待される。

■国道9号・山陰道沿線の道の駅



山陰道・国道54号沿線の地域活性化（デザインマンホール）

- 山陰道沿線活性化協議会の取り組みにより、沿線の道の駅、観光スポットにある電気のマンホールをデザイン化
- 国道54号沿線のデザインマンホールと連携し、周遊を促進

①道の駅 キララ多伎



②道の駅 ごいせ仁摩



③仁摩
サンドミュージアム



④道の駅
サンピコごうつ



⑤道の駅
ゆうひパーク浜田



⑥道の駅
ゆうひパーク三隅



⑦萩・石見空港



⑧道の駅 掛合の里



⑨道の駅 頓原



⑩道の駅 赤来高原



至安来市

地域や民間と連携した維持管理の促進

- ボランティアサポートプログラムとの取組を推進(16団体) ※R8.3末時点
- 道路空間を活用した公的活動と収益活動を併せて行う「道路協力団体制度等」の促進

公的活動イメージ



除草・植栽活動

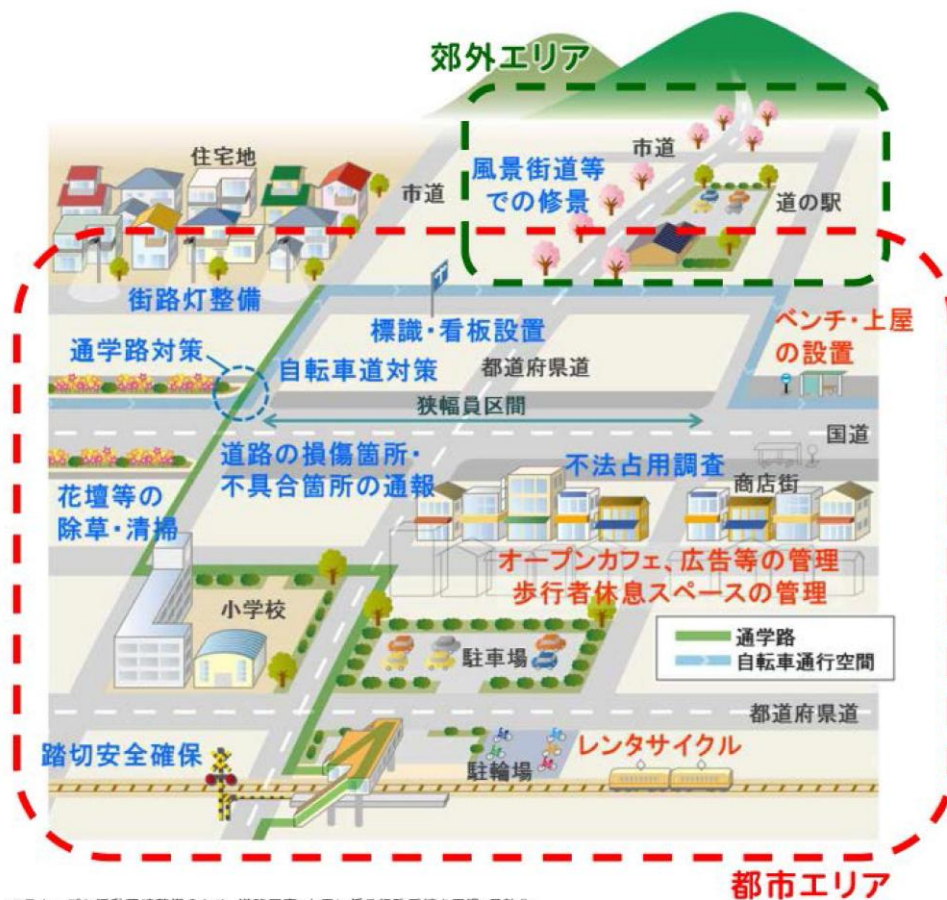
収益活動イメージ



オープンカフェ

レンタサイクル

【道路空間の活用イメージ】



※スムーズな活動環境整備のため、道路工事・占用に係る行政手続を円滑・柔軟化

地域との一体的な取り組み ～地域イベント・出前講座～

- 地域のイベント参加やブースの出展、パネル展示等を実施
- 体験学習等を通じて建設業界をPRし、興味・理解を促進



▲道の駅頓原 スノーキャンドルイベント(スノーキャンドル製作)[R8.1.31]
《頓原維持安全協議会》



▲いずも産業未来博 VR体験[R7.11.8～9]
《松江国道安全協議会》



▲除雪機械出発式[R7.11.18]
《頓原維持出張所・飯南町内小学校》



▲除雪機械ふれあい体験学習[R7.10.21]
《頓原維持出張所・飯南町内小学校》



▲いずも産業未来博 排水性舗装体験
[R7.11.8～9] 《松江国道安全協議会》

● 道路交通状況や災害時の通行規制情報、道路事業の概要や整備効果等について、ホームページやXを通じて情報を発信

松江国道事務所 HP



事業目的

出雲バイパスは、平成19年（2007年）に全線開通し、運行期間である昭和39年（開通194号及び主要地方道大田線）の交通量増加等を踏まえ、地域の交通環境の改善に貢献してきました。しかしながら、朝一・夕一時帯を中心とした渋滞の発生など、依然として課題も残されています。そのため、円滑な交通確保、物流効率化による地域産業の支援、救急搬送活動の円滑化を目的に、津山～中野原間の延長1.8kmを令和4年度（2022年）に新規事業化しました。

出雲バイパスの概要



緊急情報

道路の通行止め等に関する緊急情報はこちらをご覧ください。

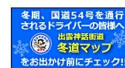
重要なお知らせ

現在重要なお知らせはありません。

松江国道事務所 X



トップページ > 国道54号ライブカメラ



- 国道9号ライブカメラ
- 山陰道ライブカメラ
- 国道54号広島県側ライブカメラ
- 尾道松江線道路情報
- 高速道路 道路情報
- 鳥根県道カメラ情報
- 石見地域のライブカメラ
- 鳥取県内道路ライブカメラ

国道54号 ライブカメラ

カメラアイコンをクリックすると現在の道路状況をご覧頂くことができます。



◆ 冬用タイヤ又はチェーンの着用をお願いします！

■ 設置カメラ一覧 気象情報・通行規制情報はこちらをご覧ください。

2026/04/09 11:45	2026/04/09 11:45	2026/04/09 11:55	2026/04/09 11:45	2026/04/09 11:55
出雲山 5 (雲南市掛合町出雲山) 124.7500p	流多 2 (雲南市掛合町流多) 118.2800p	計雲トンネル(標高：545m) (原町花栗) 115.4800p	平島 1 (原町野田) 105.7300p	赤松トンネル(標高：554m) (原町上赤松) 94.9300p



松江国道事務所 HP
https://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/index.html